



少年少女スポーツ（卓球）

会場地：姫路市（旧安富町^{やすとみ}）

競技紹介

卓球の起源についてはいろいろな説がありますが、19世紀の末にイギリスの貴族が、食事の後のテーブルで、シャンパンのコルクを打ち合ったのが始まりと言われています。その後、羊の皮を張ったバンジョーラケットとセルロイドのボールが使われ、その打球音から「ピン、ポン」と言われるようになりました。

日本に伝わったのは1902年に坪井玄道氏がイギリスから「ピンポンセット」を日本に持ち込み、紹介したのが最初と言われます。卓上で行うことと「卓越した球技」であることから「卓球」と命名されました。

行事では、中学生を対象として男女別団体戦を実施します。卓球を通して運動能力を高めるとともに、仲間と協力し支え合う中で、スポーツの楽しさ、素晴らしさを体感してもらいたいと考えています。



競技方法

ルールは、現行の日本卓球ルールを適用します。
（但し、タイムアウト制は適用しません。）

11点ゲームマッチとします。

予選リーグの後、決勝トーナメント方式で勝敗を決めます。

団体戦で、4シングルス1ダブルスとし、3点先取とします。
シングルに出場する選手は、ダブルスに出場できません。

競技場の概要

【会場】

安富スポーツセンター体育館

安富町は、姫路市から国道29号線を鳥取方面へ車で約40分（20km）北上した県の中西部に位置しています。町民体育館は町の中心地にあり、自然環境に恵まれ、町民のスポーツ活動の中心的施設で、各種クラブの練習や、スポーツ大会の会場として使用されています。



安富中学校体育館

安富中学校は、安富スポーツセンター体育館のすぐ近くにあります。体育館は校舎の東に隣接しています。中学校の体育授業や卓球等のクラブ活動で使用する他、各種スポーツ大会の会場としても使用されています。



上の写真は、安富中学校卓球部員の練習風景です。